

## 第 6 学 年 家 庭 科 学 習 指 導 案

6 年 1 組 指 導 者 重 枝 孝 明

### 題 材 快 適 生 活 つ くり 隊 ! in summer

#### 1 本題材でめざす子どもの姿について

対象と向き合う子どもの姿【対】	自己と向き合う子どもの姿【自】	他者と向き合う子どもの姿【他】
○快適な住まい方や着方に関する問いをもち、自分の家庭生活を振り返りながら追究しようとしている。	○快適な住まい方や着方について自分の考えの変容や深まりを自覚している。	○快適な住まい方や着方を追究しようと、仲間に助言したり仲間の考えを取り入れたりしている。

#### 2 めざす子どもの姿を実現するために

本学級の子どもたちは、前題材「チャレンジ!～1人で朝ごはん～」において、家庭での経験や仲間からのアドバイスなどをもとに、いためる料理の調理実習や家庭での実践を行った。このような子どもたちが、仲間と考えを交流しながら、夏を快適に過ごすための住まい方や着方を追究する学習に取り組む。このことは、仲間の考えやくふうを自分に生かし、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を養うことにつながるであろう。

本題材は、家庭で行っているくふうについて調べたり、くふうの効果を試したりして、夏を快適に過ごすための住まい方や着方を追究していく学習である。子どもたちは、実験や仲間との意見交流を通して快適な住まい方や着方について考えていく。しかし、そこで見出したくふうは、学級で設定した状況や仲間の家庭生活においては有効であると言っても、自分の家庭生活においては有効ではないこともある。そこで、見出したくふうを自分の家庭生活に位置づけて考えることを大切にしたい。そうすることで、家庭の状況をもとに、快適な住まい方や着方を理解し、家庭で実践する力をつけることができると考えるからである。

そこで以下のような支援を具体化し、本題材でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 「自分の家庭で考えるなら」という視点で見出したくふうを生かす場を設定する。そうすることで、自分の家庭生活を振り返りながら、快適な住まい方や着方について考えることができるようにする。【対】
- 住まい方や着方のくふうについて考える際には、目的や根拠を問い返すようにする。そうすることで、自分と仲間の考えの共通点や相違点を捉えることができるようにする。【他】
- 授業の終末には、自分の最初の考えがどのように変容したもしくは強化されたかを問い、学習を振り返る場を設ける。そうすることで、自分の考えの変容や深まりを自覚することができるようにする。【自】

#### 3 本題材の目標

- 自分の家庭生活を振り返りながら、快適な住まい方や着方のくふうを考えることができるようにする。
- 快適な住まい方や着方に関心をもち、仲間の考えやくふうを生かし、家庭生活をよりよくしようとする気もちをもつことができるようにする。

#### 4 本単元における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に取り組む態度（態）
○快適な住まい方や着方について理解することができる。	○快適な住まい方や着方について問いをもち、自分の家庭に合ったくふうを考えている。	○快適な住まい方や着方に関心をもち、問いの追究に向け、試行錯誤しながら取り組んでいる。

#### 5 指導計画（全5時間）

第1次 学習の見通しをもつ（2時間）

第2次 快適な住まい方や着方のくふうについて考える（3時間）【本時1／3】

6 本時案 【令和元年 6月27日 13:25~14:10 家庭科教室】

(1) ねらい 模型を用いた実験を行ったり、自分の家の窓の開け方を考えたりする活動をとおして、風通しをよくするための窓の開け方を理解し、自分の生活に生かそうとすることができるようにする。

(2) 学習過程 ※下線は3つの向き合う姿が表れている子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
<p>1 実験を通して、風通しがよくなる窓の開け方を考える。(30分)</p> <p>・風通しがよくなる窓の開け方</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>・一つの窓 ・ななめの窓 ・対面の窓 ・全部の窓</p> </div> <p>サーキュレーター 30cm 弱設定</p>	<p>・快適に過ごすためのくふうで、「窓を開ける」と言っていた人がいたね。</p> <p>・窓を開けると風が入ってすずしくなるよ。</p> <p>A窓を開けても風がこないときもあるよ。</p> <p>・どの窓をあけたら風が入ってくるのかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>どの窓を開けると、風が入ってくるのだろう。</p> </div> <p>・模型を使って、窓の開け方を変えて試してみるのだね。</p> <p>・まずは一つの窓だけでやってみるよ。うーん、奥の2つのテープはゆれないね。奥まで風が入っていないよ。</p> <p>・ななめの窓を開けると、テープはゆれるけど、1つだけゆれないところがあるね。</p> <p>・対面の窓を開けると、すべてのテープがゆれているよ。</p> <p>・全部の窓を開けると、もっと強くゆれるのではないかな。やってみよう。</p> <p>Aあれ、対面のときと変わらないよ。窓を開けるのは2つでいいのだね。</p>	<p>○実験的な活動を取り入れる。そうすることで、科学的な見方を獲得し、根拠をもって窓の開け方について考えることができるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【対】</p> <p>○「自分の家庭で考えるなら」という視点で、見出したくふうを生かす場を設定する。そうすることで、自分の家庭生活を振り返りながら窓の開け方について考えることができるようにする。【対】</p> <p>○学習前後の考えの変化を観点に学習を振り返るように促す。そうすることで自分の窓の開け方に対する考えの深まりを自覚することができるようにする。【自】</p>
<p>2 自分の家の窓の開け方を考える。(10分)</p> <p>・自分の家庭の状況に合った窓の開け方</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: flex; align-items: center;"> <p>みんなの家の部屋の風通しをよくするにはどうすればいいかな？</p> </div> <p>Aぼくの部屋は、窓が1個しかないよ。</p> <p>Bだったら、ドアを開けたらいいのではないかな。風が入ると思うよ。</p> <p>Aなるほど。今までは窓だけ開けていたよ。<u>だから風が通らなかつたのか。</u>【対】</p> <p>・部屋に風を入れるために、<u>今まではなんとなく窓を開ければよいと思っていただけ、風の通り道をつくるのが大切だと分かったよ。</u>【自】</p>	
<p>3 学習の振り返りを行う。(5分)</p> <p>・学習前後の窓の開け方の考え方</p>		

(3) 板書計画

6/27 快適生活つくり隊 in Summer

どの窓を開けると風が入ってくるのだろう?

先生の部屋

① 近いから風が吹いてくる

② どの窓を開ければ風が入る

③ 窓が大きい

(実験)

①~⑤の窓がゆれるの調べる

A	④
AB	③
AC	⑤
ABC	②

サーキュレーター  
30cm

(結果)

	A	AB	AC	ABC
1	①②	①②③	①②③④⑤	①②③④⑤
2	①②③	①②③④	①②③④⑤	①②③④⑤
3	②③	①②③④	①②③④⑤	①②③④⑤
4	①	①②③	①②③④	①②③④⑤
5	X	①②③④⑤	①②③④⑤	①②③④⑤
6	X	①②③④⑤	①②③④⑤	①②③④⑤

(考察)

- ・1つの窓だけでは風が入らない 空気が通らない
- ・2つ窓を開けると風が入ってくる 空気の通り道ができる
- ・どの窓を開ければいい? どれがよい?

自分の家で考えると?

③ 考えがかわると